



練馬区立上石神井中学校  
第二学年 学年便り【第2号】  
令和7年4月18日 発行

～ 天の時 地の利 人の和 ～

## 『誓いの言葉』

2年A組 大久保 奏佑

あっという間に一年生が終わり、僕たちは二年生になりました。勉強は一年生よりも難しくなり、学校生活では後輩ができます。委員会では委員長になったり、行事や部活動ではぼくたち2年生が中心となって活動していきます。

そこで僕は、二年生で勉強と部活動の両立ができるように頑張りたいと思っています。両立は簡単にできることではありませんが、次のことを意識して生活し、両立を目指します。まずは、一日一時間は勉強し、それを習慣づけて継続していきます。また何事にも真剣に取り組み、メリハリのある学校生活を送ることを意識し、時間を効率的に使えるようにしたいです。授業や部活動、行事など一生懸命取り組むときは取り組み、楽しむときは楽しんで、充実した一年になるように、学校の中心という自覚をもって生活していきます。

始業式の日、生徒代表の言葉です。この文章からも伝わる、“先輩として”の決意。日々の学校生活や授業、様々な活動を通して、学校の中核を担える力をつけていってほしいと思います。後輩だけではなく、先輩からも頼られる第二学年を作りましょう。



## 朝の出欠連絡 sigfy

学校生活が始まり、二週間が経ちました。最初の頃の緊張感が、疲れとなって出てくる頃かと思います。欠席・遅刻・早退がある時には、昨年度同様 Sigfy、または電話での確実な連絡をお願いいたします。

※ 連絡は8時10分までにお願いいたします。

## インタビューの御礼



春休みの宿題で出した『身近な人へのインタビュー』では、多くのご家族や親せきの方々にご協力いただきました。宿題に熱心に取り組む様子を見て、日頃身近にいる人の働く様子を知り子どもたちも刺激を受けているようでした。これから始まる職場体験の取り組みに、ぜひ生かしてほしいと思います。インタビューにご協力いただき、どうもありがとうございました。

## 天地人の由来

“天地”人とは、米沢藩主だった上杉謙信が残した言葉とされています。「天の時 地の利 人の和」今というこの時に、この場所に縁あって集った133名の生徒と7名の教員。この出会いを大切に、みんなで協力して最高の学年を作りたいと思っています。